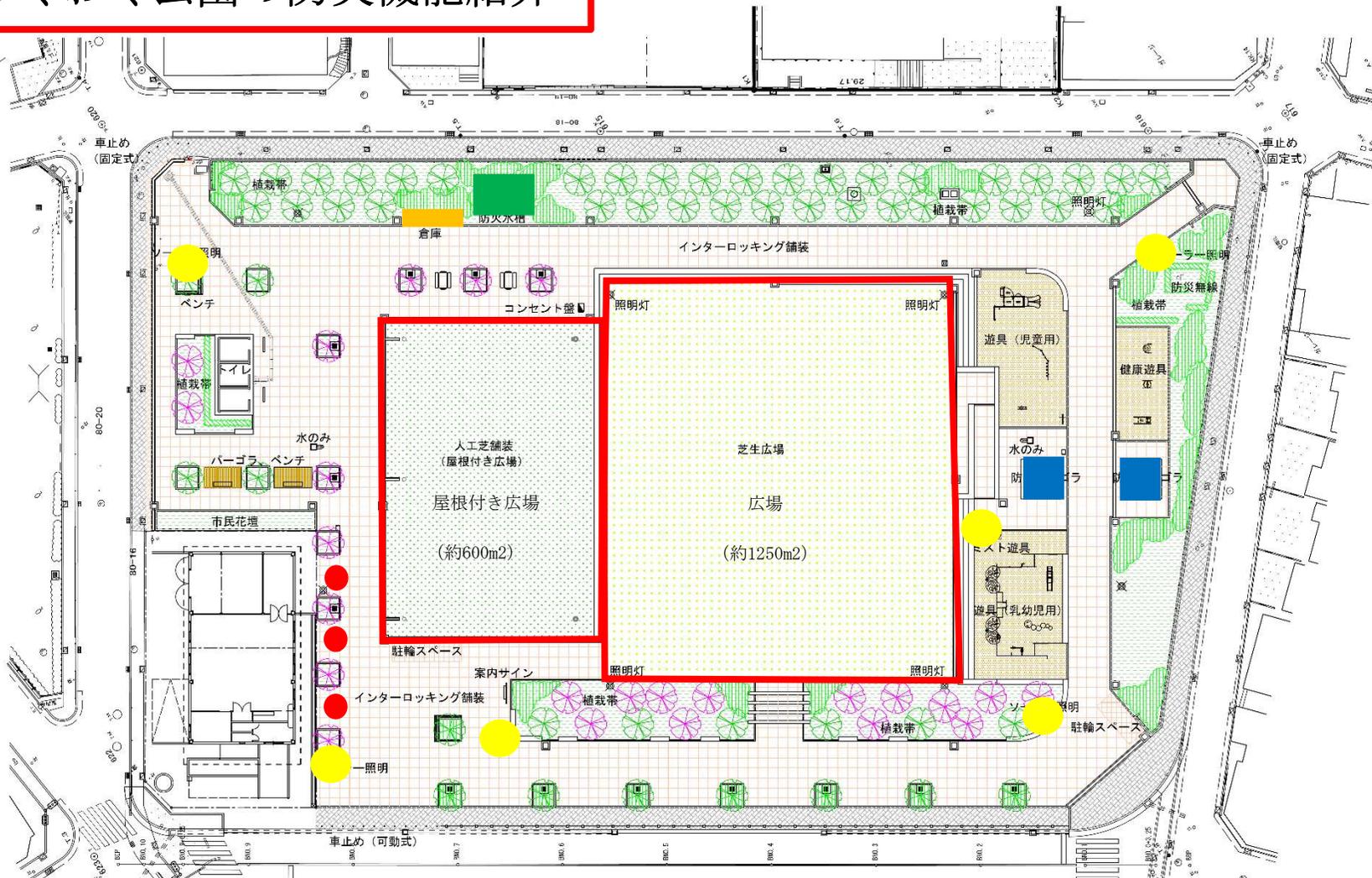


# 南わくわく公園の防災機能紹介



- ソーラー照明 (6基)
- 防火水槽 (40t級)
- 広場 (2箇所)
- かまどベンチ (3基)
- 防災パーゴラ (2基) (\*テントは町会倉庫  に保管)



工事名	旧南小学校跡地公園整備工事		
図面名	計画平面図	縮尺	1:200(A1)
設計日	令和5年12月		1:400(A3)
全58枚の内 No. 2			
守口市 都市整備部 道路公園課			

## ○ソーラー照明



TLE2045LAD 全体図

### 動作仕様

形 式	TLE2045LAD	
光源色	昼白色 (5000K)	
点灯時間	有効日照時間 4時間地域	有効日照時間 3時間地域
	最長 14 時間 (日)	最長 14 時間 (日)
調光点灯	6 時間 100%+8 時間約 50%	4 時間 100%+10 時間約 50%
無日照補償日数	5 日間	

構成	形式	備考
照明器具	T-キタ/LAD201	昼白色LED内蔵 アルミダイカスト製 アクリル樹脂焼付塗装
ポールボックス	T-ポールBOX/LAD/HDZ	鋼管、溶融亜鉛めっき後 アクリル樹脂焼付塗装
太陽電池モジュール マウント	T-GT-K100/LAD	太陽電池：単結晶シリコン 100W モジュールマウント：SUS 製 アクリル樹脂焼付塗装
バッテリー	T-バッテリー/FV1260	60Ah-12V×2 台

○かまどベンチ・防災パーゴラはメーカーの説明書を添付いたします。↓↓

このたびは中村製作所製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。  
お気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。

# かまどベンチ

## MB(R)-BS15KM / MB(R)-BS15KMF

### 取扱説明書

※(R)は合成木材仕様



MB(R)-BS15KMF



MB(R)-BS15KM

## 製品の特長

- |           |  |
|-----------|--|
| <b>機能</b> | 平常時はベンチとして、災害時には「かまど」としてご利用いただけます(最大で55L寸胴鍋2個使用可)。 |
| <b>便利</b> | かまどとして使用する際に機能的な「風防・灰受け」も付属しています。                  |
| <b>意匠</b> | 通常のベンチと変わらない高い意匠性を保ちつつ、かまど機能をプラスしています。             |
| <b>利用</b> | 脱着可能なベンチは、かまど使用時には、単体のベンチとして利用可能です。                |



【使用イメージ】

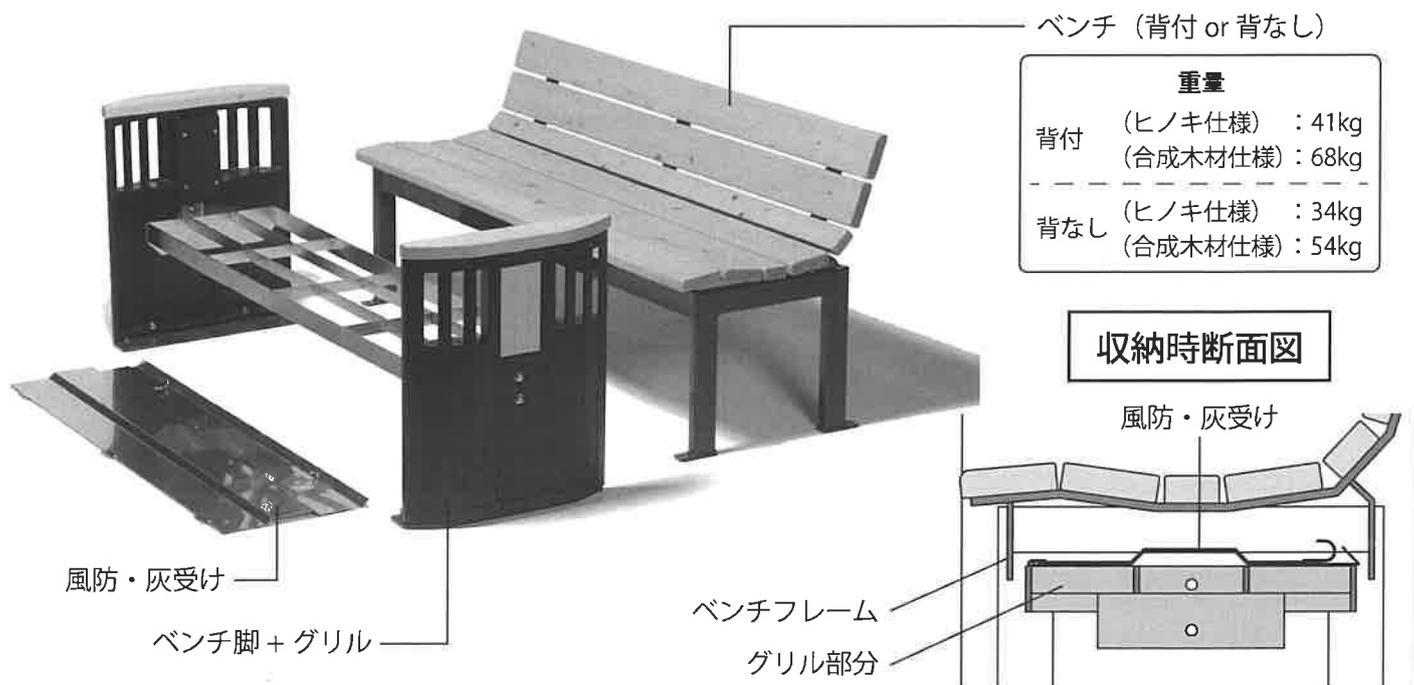
## 使用上のご注意

- |           |   |  |
|-----------|---|--|
| <b>警告</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>仕様と異なる修理、改造、部品交換等は、安全性、機能性を損なう恐れがあります。</li> <li>このような場合には、当社の保証及び保険制度が適用されない場合がございますのでご注意ください。修理・交換が必要な場合には、当社までご相談ください。</li> </ul>  |  <p>アルミホイルで覆う</p> |
| <b>危険</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>かまどとして使用時(燃焼時)は各部が高温になるため、直接素手などで触れぬようご注意ください。火傷などの思わぬ怪我をする恐れがあります。</li> <li>※防災訓練などで使用する場合は、両サイドのベンチ脚(アルミ鋳物部と木製肘掛け部)はアルミホイルなどで覆い、スス汚れや熱・炎から製品を保護することを推奨いたします。</li> <li>※設置面が砂、土でない場合には設置面を傷めないように、耐火レンガ等で保護することを推奨いたします。</li> </ul>                       |  |
| <b>注意</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>加熱時には、引火のおそれのあるものを製品のまわりに置かないで下さい。</li> <li>高温時に水をかけないで下さい。製品が破損する恐れがあります。十分に温度が下がってから清掃してください。</li> <li>汚れ落としは、水拭きで十分です。落ちにくい場合には中性洗剤を水で薄めて使用し、水拭きしてください。</li> <li>各部に腐食やネジのゆるみ等がないか、定期的に点検してください。部品の脱落等による事故の可能性があります。ゆるんでいるネジ類は、必ず締め込んでください。</li> </ul> |  |
| <b>重要</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>木材は日光の紫外線により、表面がグレーに変色しますが、1～2年の周期で塗装しますと、素地調整も容易で製品が長持ちします。メンテナンスには木材保護着色塗料(W P S)の使用をお奨めします。</li> <li>木材保護着色塗料(W P S)はホームセンターや塗料店等でお求めになれます。</li> </ul>  |  |

## ■ご理解ください木材の性質

木材は天然素材ですので、若干の節やひび割れ等があります。また、部位によって色味の異なることがあります。屋外に設置された木製品は、湿度の変化によってご利用にさしつかえのない程度に反りが生じることがあります。  
※合成木材仕様の場合は、別途「NAウッド使用上の注意」を参照下さい。

## 部品構成

**\*注意**

風防・灰受けを収納する際には、グリル部分にしっかりと載せて、ベンチフレームからはみ出さないようにしてください。

## 使用方法

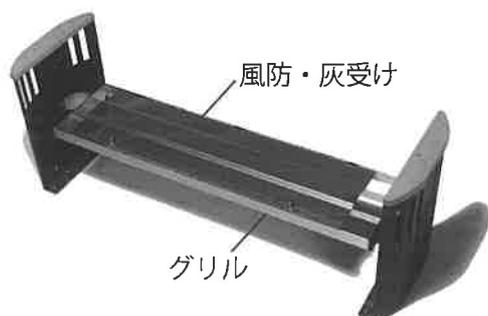
①ベンチ脚内側の固定ナット (M10) を外します (4箇所)。



②ベンチを外します (必ず成人2人で持ち上げてください)。



③グリル上の風防・灰受けを外します。  
(風防・灰受けは折りたたんであります)



④風防・灰受けのフックをグリルに引っ掛けます。  
(戻す時は逆の手順となります)



## 保証・保険制度のご案内

### ●保証制度について

当社では製品のお引き渡し日より最高2年間の製品保証を行います。製品保証は通常の使用において生じた製品の故障や破損について、当社が認定した場合、無償にて修理または部品の交換などを行うものです。

但し、次の場合については、保証期間中でも有償となりますのでご了承ください。

- ①火災、地震、水害、落雷、瓦斯害、塩害、その他天変地異による故障または損害。
- ②故意または不適切な修理、改造による故障または損傷。
- ③設置後の移動などによる故障または損傷。
- ④悪戯などの外的要因による故障または損傷。
- ⑤部材や塗装面の経年変化による障害。(例：退色、変色、汚れ、乾燥による割れなど)
- ⑥消耗品の交換。

### ●保険制度について

株式会社中村製作所は（一社）日本公園施設業協会賠償責任保険制度に加入しています。

これに基づき弊社が製造・販売する製品について、生産物賠償責任保険・及び請負賠償責任保険に加入しています。

#### 生産物賠償責任保険

製造・販売ならびに、設置した施設のご使用時において、生産物上の過失により、万一事故が発生した場合に対して補償させていただきます。

#### 請負賠償責任保険

弊社製品を設置（保守点検業務を含む）するにあたり、皆様の身体や財物が損害を受けた場合に対して補償させていただきます。

取扱店

 株式会社 **中村製作所**®

〒271-0093

千葉県松戸市小山 510番地

TEL 047-330-1111(代) FAX 047-330-1119

ホームページアドレス <http://www.nakamura-mfg.com>

2020年4月1日現在

製品改良のため形状・仕様が変更になる場合もありますのでご了承ください。

許可のない転載・複写を禁止します。

# 施 工 要 領 書 (CD-A156)

[ 災害時テント ]

< パーゴラ:SPA-A010 >

H.O.C 株式会社



### 1: 災害時テントの搬入

- ・テントは「屋根／壁」が一体式となっています
- ・テント1張りの重量はおよそ「45kg」です。



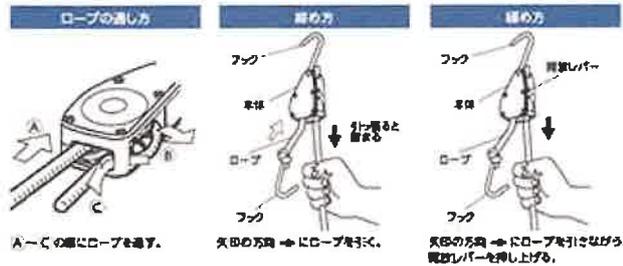
### 2: 災害時テントの部材 確認

- ・テント本体(1張り)
- ・吊下げ金具(13個)

吊下げ金具

テント収納袋

#### 使用方法



### 3: 「吊上げ 部材」 確認

- ・テント1張りに2組 使用します。



### 4: テントの施工 準備

- ・パーゴラ下でテントを広げます。
- ・テント屋根面が全面見える様に展開します。



- ・パーゴラ桁下面に半丸の吊下げ金具取付用の金物が溶接されています。
- ・この金物に吊下げ部材を掛けます。



### 5: テントの吊上げ 準備

- ・テント屋根面に吊下げ金具取付用の「ハトメ」が付いた帯が十字に縫製されています。
- ・十字の1辺に吊上げ部材を取り付けます。



### 6: テントの吊上げ-01

- ・吊上げ部材でテントを吊上げ、テントのハトメとパーゴラ桁下の吊下げ金具取付け用金物を吊下げ金具で連結していきます。



### 7: テントの吊上げ-02

- ・同じ要領で十字の他1辺を片方ずつパーゴラの桁下に取り付けていきます。



- ・パーゴラ梁各辺の中心部にテントを吊上げベルト:Aで吊上げます。



### 8: パーゴラ梁(中心部)への固定

吊上げベルト:A



吊上げベルト:B



### 9: パーゴラ柱への仮固定

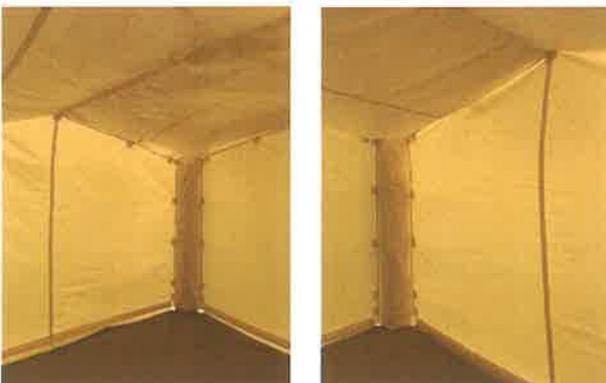
- ・柱への固定ベルト5本を仮固定します。
- ・柱固定部上部に梁への吊上げベルト:Bが2本用意されています。
- ・これを梁に掛けます。
- ・梁への吊上げベルト:Bでテント四隅の高さを調節します。

吊上げベルト:C



### 10: 全体の張り具合の調整

- ・パーゴラ梁各辺の中心部と柱の間にもう1本づつ吊上げベルト:Cを取り付けます。
- ・吊上げベルト「A/B/C」を調節してテント全体の高さを整えます。
- ・高さの調整が終わった時点で柱のベルトを締めて横方向の張り具合を整えます。



### 11: 室内状況

	<p>12:取り外し</p> <ul style="list-style-type: none"><li>▪柱に固定したベルトを外します。</li><li>▪吊上げベルトは柱側から梁中心方向の順で取り外していきます。</li> <li>▪屋根面を吊っている吊り下げ金具を外します。 *吊上げ部材を使い、施工手順とは逆の手順で作業していきます。</li><li>▪テントを畳みます。 *広げていく時の折り畳まれ方と逆の手順で折り畳みます。</li></ul>